

平成28年度病害虫発生予察特殊報第4号

平成28年11月1日
愛 知 県

- 1 病害虫名：タバコノミハムシ (*Epitrix hirtipennis* (Melsheimer))
- 2 発生作物：ほおずき、ナス
- 3 発生地域：三河地域
- 4 発生確認の経過

平成28年7月中旬に東三河地域の露地栽培のほおずきほ場において、ノミハムシ類の成虫がほおずきの新葉を食害していることが確認された。成虫を採取し、農林水産省名古屋植物防疫所に同定依頼したところ、本県未発生のタバコノミハムシと同定された。

その後、平成28年9月下旬に東三河地域の家庭菜園のナスほ場において、同年10月上旬に西三河地域の露地栽培のほおずきほ場において、ノミハムシ類の成虫が確認された。これらについても現地で成虫を採取し、農林水産省名古屋植物防疫所に同定を依頼したところ、タバコノミハムシであると同定された。

本種は、北アメリカ及び中央アメリカ、ヨーロッパで確認されており、国内では、現在までに栃木県、神奈川県及び静岡県で特殊報が発表されている。

- 5 本種の形態及び特徴

成虫の体長は1.5～2.5mm。長楕円形でやや扁平であり、密な短刺毛に覆われる。色彩はやや光沢のある淡褐色から赤褐色で、上翅には不明瞭な黒斑をもち、この黒斑は背面全体に広がることもある(図1)。後腿節は顕著に肥大している。触角は11節である。

卵は地表に産み付けられ、孵化した幼虫は地中で根を加害した後、地表部近くで蛹化する。気温27度、湿度80%及び明期14時間・暗期10時間の条件下では、卵から成虫までに24日間を要する。成虫は落葉等の下で越冬する。アメリカ合衆国のバージニア州では年に4世代を経過するという報告がある。国内での詳細な生活史はまだ明らかではないが、関東地方では、5月から11月まで成虫の発生が確認されている。

- 6 被害

本種は葉の片側の表皮を残して葉肉を食害したり、葉を貫通して食害したりするため、直径1～2mm程度の多数の小さな白い点状の食害痕や丸い穴が観察される(図2～5)。また、未展開の新葉を加害し、展開した葉が奇形になる場合がある(図6)。

- 7 寄主植物

本種はたばこ及びナス、ジャガイモ、ほおずき等のナス科植物を寄主とし、特にアメリカ合衆国ではたばこの重要害虫とされている。国内では、ほおずき、ナスの他に、ジャガイモ、ワルナスビ、トマトで発生が確認されている。

- 8 防除対策

- (1) 平成28年10月19日現在、ほおずき及びナスにおいて本種に適用のある農薬はない。
- (2) 本種が寄生している作物の栽培終了時は付近のナス科作物に本種が移動しないように速やかに片づける。

- 9 連絡先

農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室
電話 0561-62-0085 内線471



図1 ほおずきに寄生する成虫
(体長約2mm)



図2 ほおずき葉の被害



図3 ほおずき葉の被害



図4 ナス葉の被害



図5 ナス葉の被害



図6 ナス葉の被害